

祝 松江だんだん道路(西尾IC～松江JCT)開通



祝 松江自動車道(三刀屋木次IC～吉田掛合IC)開通

道づくりだより

2012.3 島根県道づくり調整会議

第49号

Contents

1. 祝 松江自動車道(三刀屋木次IC～吉田掛合IC)間開通
一般県道吉田掛合インター線開通 (高速道路推進課)
2. 祝 一般国道485号 松江だんだん道路開通
(西尾インターチェンジ～松江ジャンクション間) (道路建設課)
3. 神門通りの道づくりについて
～出雲大社前駅を活かしたにぎわい拠点づくり～ (都市計画課)
4. 松江市道 鯛原柏線の開通について(県代行事業) (道路維持課)



■開通イベントの様子■

3月17日（土）、開通を前に開通記念イベント「未来へのミチシルベ」が三刀屋木次インター、吉田掛合インター周辺で開かれ、真新しい高速道路上でのウォーキングや10kmマラソンに、沿線市民の方など約1900人に参加していただきました。みなさん、出口標識の前で写真を撮ったり、橋梁から眼下に広がる街並みを眺めたり、とても嬉しそうでした。



三刀屋木次インター会場ウォーキング



吉田掛合インター会場ウォーキング

■開通祝賀行事の様子■

3月24日（土）の開通当日、溝口知事や県選出国會議員ら約300人の出席のもと開通祝賀行事が行われました。式典に先立ち、三刀屋木次インターチェンジではテープカット、バルーンリリースの後、乗用車やバス30台で通り初めし、地元地権者とともに待ちに待った開通を祝いました。

その後、三刀屋文化会館アスパルに場所を移して行われた開通式典で知事は「尾道松江線は来年度には三次市まで繋がる。平成26年度に全線が開通すれば、関西や九州、四国方面とも繋がり、観光客や企業の進出が増えて島根の将来に大きく貢献する。皆さんと一緒に高速道路を利用した観光や産業を推進して、魅力ある島根づくりを全力で行う。」と挨拶しました。



テープカット



知事の挨拶

祝
3月24日

一般国道485号 松江だんだん道路開通
(西尾インターチェンジ～松江ジャンクション間)



一般国道 485号 「松江だんだん道路」のうち西尾インターチェンジから松江ジャンクションの区間(延長2.6km)が、平成24年3月24日(土)15:00に開通し、松江市街地の南北が、大橋川に5番目に架かる「縁結び大橋」で繋がりました。

「松江だんだん道路」は、一般国道431号川津バイパスと一般国道9号松江道路を結ぶ地域高規格道路で、豊かで活力ある「宍道湖・中海都市圏」の形成を図る主要な都市基盤として平成15年度から事業を進めています。

この道路の整備により、松江市街地の渋滞緩和、災害や緊急時の避難路や迂回路としての効果のみならず、宍道湖・中海圏域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。

現在、西尾インターチェンジ以北についても、平成25年春の全線開通に向け整備を進めています。

■開通区間の概要■

- ◇延長 2.6km (自動車専用道路)
- ◇幅員 全幅員 9.0m、車道幅員 7.0m
- ◇出入口 西尾インターチェンジ、津田インターチェンジ、松江ジャンクション
- ◇主要施設 縁結び大橋 延長 610m
東津田高架橋 延長 1,408m
- ◇その他 大橋川区間には、自転車歩行者専用道路(延長1.3m、幅員3.5m)を併設しています。



西尾インターチェンジ



縁結び大橋



津田インターチェンジ



松江ジャンクション

■ 開通式・祝賀行事の様子 ■

開通式は 15:00 の開通に先立ち、松江市立女子高等学校の体育館において、知事をはじめ、県選出国會議員、県議會議員、用地提供をいただいた住民の方など約 300 人が出席して行われました。この中で知事は「松江市街地の渋滞緩和、災害や緊急時の避難路や迂回路として効果のみならず、宍道湖・中海圏域の発展に大いに寄与するものと期待している」と述べました。



また、開通式の後、場所を西尾インターチェンジ付近に移して、祝賀行事が執り行われました。テープカットやくす玉割り、松江鉄砲隊の演武で開通を祝い、大橋川に架かる「縁結び大橋」では、松江市立女子校ブラスバンド部の演奏のもと、3 世代夫婦を先頭に渡り初めがにぎやかに行われました。



溝口知事の祝辞



テープカット



松江鉄砲隊の演武

■ プレイベントの様子 ■

平成 24 年 3 月 10 日には、西尾 I C ~ 松江 J C T 間の開通に先立ち、松江だんだん道路開通式実行委員会の主催によりプレイベントが開催されました。当日は、北風、小雨まじりの天候でしたが、県内外から約 2,000 人の参加がありました。参加者は、ウォーキングやサイクリングで路上からの眺めを楽しみ、記念撮影をしたりしていました。また、無料で配られたシジミ汁で体を温めていました。

家族で参加した参加者からは、「道路の真ん中を歩くことはなかなか経験できない」「女子校に通う子は、便利になるね」といった声が聞かれました。



ウォーキングの様子



サイクリングの様子

■ 開通後の様子 ■



松江だんだん道路
(西尾 IC から縁結び大橋を望む)



松江だんだん道路 西尾 IC
(西尾 IC オフランプをのぞむ)



西尾インターアクセス道路
県道本庄福富松江線
(西尾 IC から松江市街地側をのぞむ)



西尾インターアクセス道路
県道本庄福富松江線
(西尾 IC から中海側をのぞむ)

■ 開通により期待される主な効果 ■

①松江市街地の渋滞の緩和

松江市街地は、大橋川により南北に分断され、南北の往来は大橋川に架かる4つの橋が担っています。松江だんだん道路の整備により、この4橋の交通量を分散し、渋滞を緩和します。

②市民の安全・安心を確保

平成18年7月豪雨の際には、松江市街地が冠水し、市街地に架かる4橋のうち宍道湖大橋だけが通行することができました。松江だんだん道路は、こうした豪雨による市内冠水時にも確実に道路交通を確保します。

③救急医療活動支援

松江市街の橋北地区から松江市立病院への所要時間が大幅に短縮し、迅速で確実な救急搬送が可能になります。

④通学・通勤の利便性向上

渡河部には、自転車歩行者道路を併設しており、松江東高校や松江市立女子高校への橋南地区からの通学が安全・便利になります。

神門通りの道づくりについて

～出雲大社前駅を活かしたにぎわい拠点づくり～

一畑電車出雲大社前駅周辺のポケットパーク整備

平成 25 年の出雲大社正遷宮を控え、勢溜り周辺を中心に新規出店が進む「神門通り」のにぎわいを、通りの南へとつなげていくため、市・県・一畑電車が協力し、登録文化財である出雲大社前駅を活かした新たな観光スポットづくりを行います。

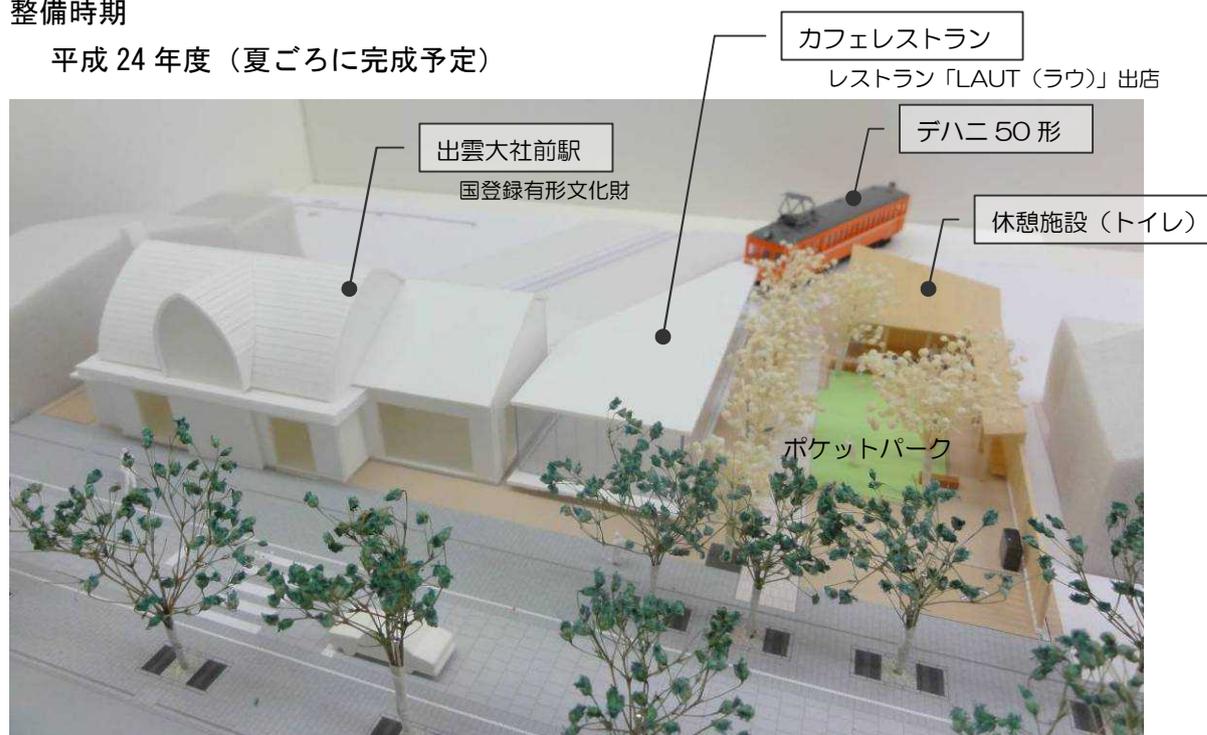
映画「RAILWAYS」で話題になった電車「デハニ50形」の展示スペースや、駅舎を活用したカフェレストラン、観光客と住民の休息・交流の場となる空間を一体的に整備します。

○ 事業概要（整備主体）

- ① デハニ 50 形展示施設（一畑電車株式会社）
- ② カフェレストラン（一畑電車株式会社）
- ③ ポケットパーク（出雲市、島根県）

○ 整備時期

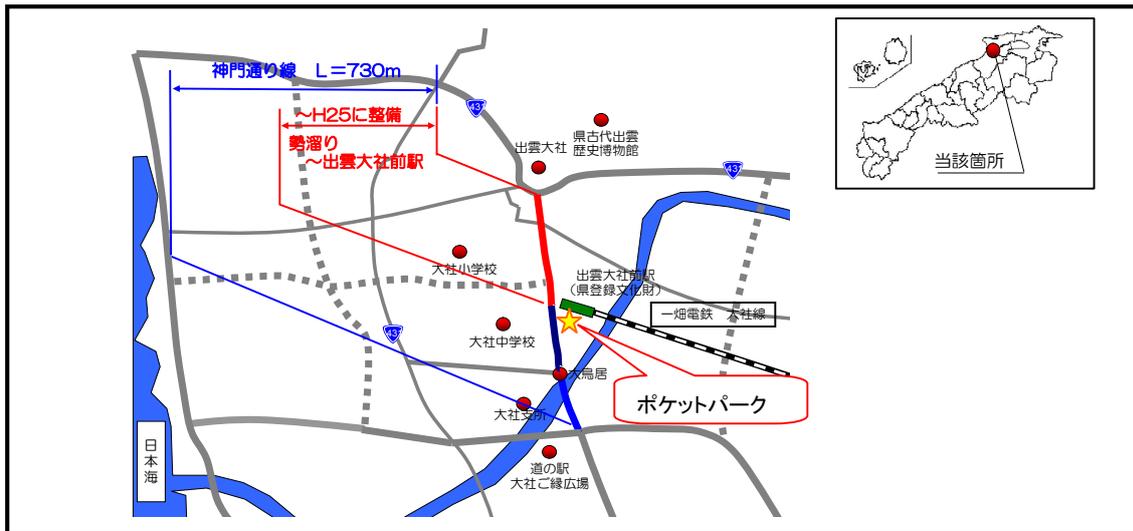
平成 24 年度（夏ごろに完成予定）



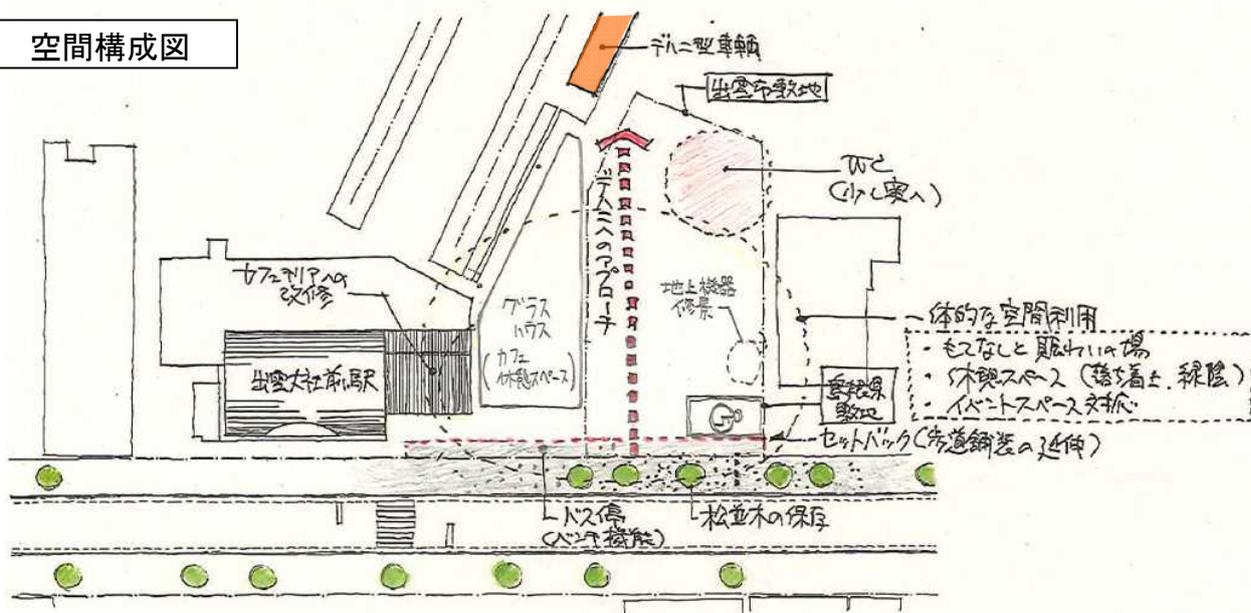
神門通り線に関する情報は、出雲県土整備事務所ホームページに掲載しています。

アドレス：http://www.pref.shimane.lg.jp/izumo_kendo/

位置図



空間構成図



現況写真



たいばらかせわせん 松江市道鯛原柏線の開通について

(県代行事業)

一般県道御津東生馬線の松江市鹿島町御津地区から北講武地区の区間は、急カーブかつ急勾配であり、地すべり区域を通過します。さらに、島根原子力発電所より約2kmしか離れていないこともあるため、災害時における避難道路の確保が急務となっていました。

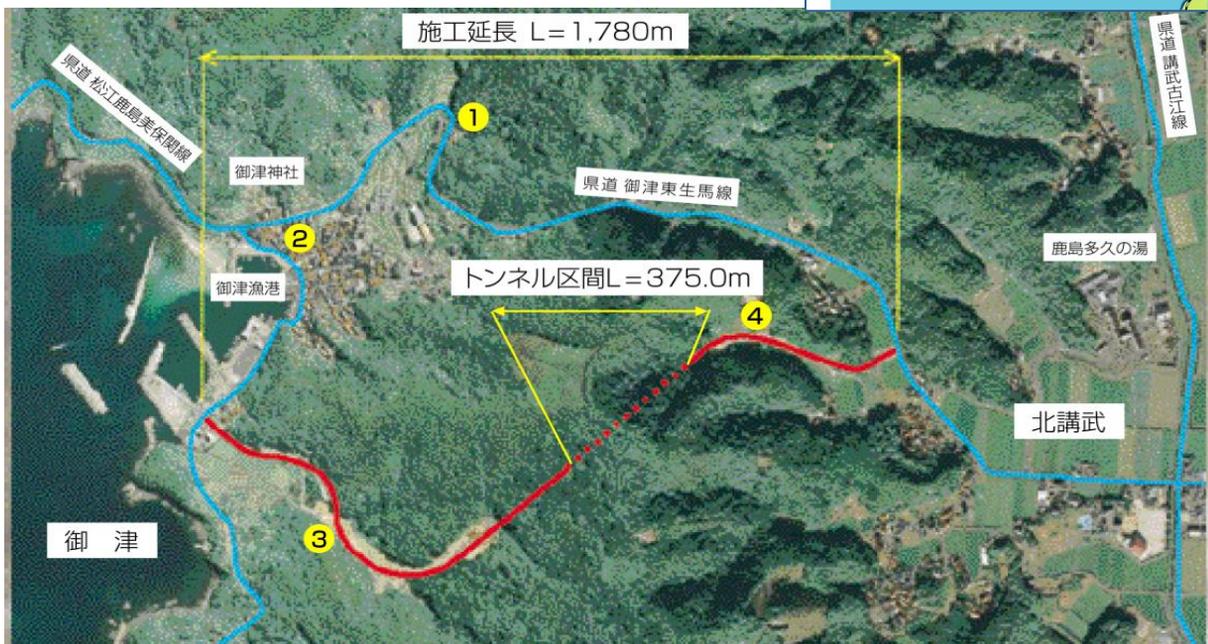
そのため、この区間をバイパスでつなぐ「市道鯛原柏線」が平成13年度に旧鹿島町により計画され、平成14年度より測量設計、用地補償に着手されました。

また、平成14年4月に本路線が半島振興法に係わる基幹道路として指定されたことから、平成15年度より旧鹿島町の代行事業として、島根県が事業に着手し工事を進めてきました。

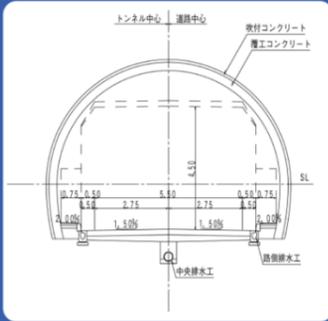
このたびの開通により、御津地区から松江市中心部へのアクセスが向上するとともに、緊急時の避難道路、輸送道路としても機能し、地区住民の生活の向上と地域の活性化にも大きく寄与するものと期待されます。

事業概要

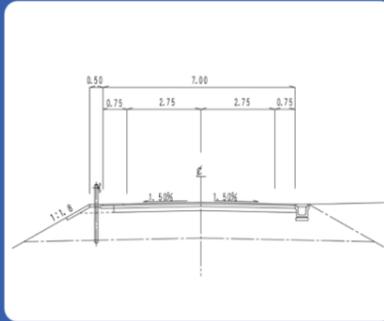
路線名：市道 鯛原柏線(たいばらかせわせん)
位置：松江市鹿島町御津～北講武地内
延長：L=1,780m
事業期間：平成15年度～平成23年度
道路規格：第3種 第4級
設計速度：40km/h
道路幅員：(一般部) 車道2.75m×2車線+路肩0.75m×2=全幅7.0m
(トンネル部)車道2.75m×2車線+路肩0.5m×2=全幅6.5m
主要構造物：御津柏(みつかせわ)トンネル L=375.0m
総事業費：約20億円



標準断面図



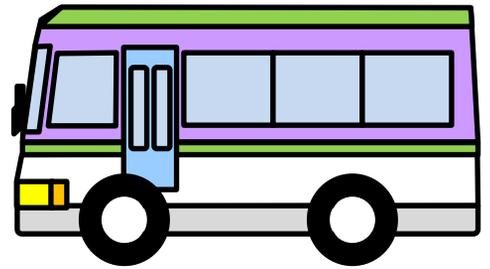
トンネル部



一般部



御津柏トンネル



整備前



整備後

